



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 153

平成29年(2017)
7月31日

主な内容	6月定例会のあらまし	2
	一般質問	2
	各会派討論の内容	7
	常任委員会の視察報告	9
	議案採決結果	10
	政務活動費の支出内容	10
	議長交際費の支出内容	11
	常任委員会の審査報告	12
	9月定例会予定	12

- 認定こども園の園舎建設工事に係る公立認定こども園整備事業費や休日急病診療所の開設日を拡大する舞鶴市休日急病診療所管理運営経費など平成29年度一般会計補正予算を可決

咲き誇る紫陽花の散歩道



6月定例会のあらまし

●子どもたちが専門知識を修得し本市の産業を支える人材となるための舞鶴工業高等専門学校・ポリテクカレッジ京都及び介護福祉士養成施設での修学資金に関する条例制定を可決

平成29年舞鶴市議会6月定例会は6月2日に開会。6月28日までの27日間開催し、市長から提案された平成29年度の一般会計補正予算や条例制定、人事案件などの26議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意としました。

平成29年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

平成29年6月13日、14日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	伊田 悦子	1 子どもの貧困問題の解決に向けた取り組み等について
			2 子育て支援の充実について
			3 核兵器全面廃絶を願い、平和を発信する取り組みについて
2	一括	杉島 久敏	1 学校教員の勤務改善について
			2 公共施設の耐震化について
3	一括	福村 暉史	1 原子力防災について
			2 環境問題について
			3 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進について
			4 本市の教育について
4	一括	高橋 秀策	1 まちづくりについて
			2 赤れんが周辺等まちづくりについて
			3 本市教育の充実について
			4 斎場について
			5 西運動公園について
5	一括	亀井 敏郎	1 自主運行バスと地域振興について
			2 高齢者の見守りや買い物支援について
			3 高齢者の外出支援について
6	一括	西村 正之	1 「いじめ」について
7	一括	石束 悦子	1 テロ等準備法案（共謀罪法案）について
			2 公共交通と地域づくりについて
			3 定置網漁業への補助制度について
8	一問一答	松田 弘幸	1 府道21号舞鶴野原港高浜線について
			2 6次産業化について
9	一括	水嶋 一明	1 乳幼児教育と公立認定こども園について
			2 フードツーリズムの展開について
10	一括	伊藤 清美	1 京都舞鶴港の「海の京都駅（仮称）」について
			2 観光振興について
			3 育児休業制度について
			4 2020年東京五輪・パラリンピックに向けた取り組みについて
11	一問一答	田村 優樹	1 消防団活動の充実強化について
			2 地域包括支援センターについて
			3 小中一貫教育について
12	一問一答	小杉 悦子	1 高浜原子力発電所の再稼働と市民の安全について
			2 舞鶴の地域医療について
			3 教育について
			4 由良川の治水対策について
			5 資産の有効活用について
			6 農業委員の選考について
13	一括	小谷 繁雄	1 子育て支援の充実について
			2 認知症支援の充実について
			3 災害発生時の対応について
14	一括	鯛 慶一	1 一般廃棄物減量化について
			2 JR線の活用について
			3 若者の定住について
15	一問一答	肝付 隆治	1 介護予防・日常生活支援総合事業について
			2 大連市との経済交流について
16	一問一答	松岡 茂長	1 原発問題について
			2 図書館問題について
			3 子どもの貧困対策について
17	一括	今西 克己	1 舞鶴の農作物の状況について
			2 小中学校のノートPCウイルス感染の状況について
			3 SNSの小中学校での状況について
			4 防災アプリの活用について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一 括 … 質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※一問一答 … 質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

6月13日、14日に本会議を開き、17人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

核兵器全面禁止願う 市民運動激励せよ



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 核兵器廃絶を願う、平和首長会議に加盟しているにもかかわらず、核兵器の禁止を願う市民運動のメッセージ依頼などの要請になぜ答ええないのか。

答弁 市として核兵器廃絶の意思を示し、市民運動への理解もすっかりしているが、要請がある全てにお答えできない。

本気度問われる医療費助成

質問 ①整備される認定こども園に併設される「乳幼児教育センター」は機能を考える

と専任職員が必要。②子どもの医療費助成は北部で最低。他市町が

部活動指導員制度 導入の取り組みを



公明党議員団
杉島久敏

質問 文科省が学校教育法の施行規則を改め、部活動指導員が制度化された。教職員の時間外勤務負担の軽減措置として注目されるが本市として、制度導入や人材確保をどのように捉えているのか。

答弁 本年4月、国における「部活動指導員制度」が導入され、市内中学校に1名が配置された。教育委員会としては教員の負担軽減に向け、部活動指導員が充実するよう要望していく考えである。

非構造部材の耐震化促進

質問 災害時に避難所として利用する公共

施設内の天井や壁を含む多種多様な非構造部材の落下は被害拡大の恐れがある。現状、本市における非構造部材の耐震化及び落下防止対策の進捗状況を問う。

答弁 本市では、文科省の指導により、対象となる小学校施設の天井の耐震化を昨年度完了した。耐震化の必要な残り施設の非構造部材については、早期改修を検討していく。

高浜原発再稼働と 安定ヨウ素剤



新政クラブ議員団
福村暉史

質問 高浜発電所の再稼働について、冷却水漏れ、原子炉緊急停止、クレーン倒壊事故など、市民に大きな不安を与えた中、4号機は5月に、3号機は6月に再稼働した。

質問 市民に大きな不安を与えた高浜発電所の再稼働に対する、市の見

解を問う。

質問 安定ヨウ素剤

学力日本一を目指そう 教員に余裕を



創政クラブ議員団
高橋秀策

質問 遅くまで勤務をされる教員が多いと聞くが、教員には異業種の人たちとの交流や読書の時間の確保など人間力を高め、心に余裕をもって子どもたち

答弁 舞鶴市立学校教職員の勤務時間適正化に向けた取組方針に基づき、教員の意識啓発や業務負担の軽減、学校事務の改善、会議等の効率化等を推進し

きる学校等の避難時集結場所(市内32カ所)に分散備蓄する方法が最善と考え、また、京都府とも協議しているとのことであるが、その

状況について尋ねる。

答弁 学校等への分散備蓄を進めてきたが、社会福祉施設の入所者や職員用の備蓄に向けた準備を進めている。

西運動公園ナイター照明を

質問 人工芝グラウンドには、ナイター照

明設備が付いていないが、真夏の暑いときや夜間でないとスポーツができない市民のためにも必要でないかと考えるが見解を問う。

答弁 設置を希望する声を聴いているが、課題もあることから、まずは、多くの皆様にご利用いただけるよう周知に努めていく。

一般質問

6月13日、14日に本会議を開き、17人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

自主運行バスは柔軟な対応が不可欠



鶴翔会議員団
亀井敏郎

質問 自主運行バスの運行については、地域の振興発展にも寄与する中で、臨時運行も行ってきたが、行政指導が入り運行ができなくなったと聞くが、市の見解と対策を問う。

答弁 臨時運行については、地域の実情を踏まえ、国等と調整を行っていく。

質問 臨時運行ができなくなると地域独自で民間バスの借り上げとなるが、市の支援、補助は可能か。

答弁 地域の実情を聴く中で、必要な支援を検討していく。

質問 高年齢者の買い物支援について、舞鶴市では民間事業者と「中丹ふるさとを見守る活動」に移動販売車による支援を実施している。国も様々な支援策を行っているが、舞鶴市として民間事業者への補助金等の支援について見解を問う。

答弁 高年齢者外出支援を行っていることから、財政的な支援は考えていない。

あたたかい支援が必要

いじめ問題を問う



会派に所属しない議員
西村正之

質問 「いじめ」問題は、昔からあったが、その様相を変え、いじめ方が執拗かつ残忍で歯止めがなく、集団で少数の者を長期間にわたっていじめ、また、いじめる側にも罪の意識が乏しく、そして、結果的にいじめられる者を自殺に追い込んだ

りしているのが、現代的ないじめの特徴である。

そこで、本市におけるいじめの実態把握並びに取り組み状況、また、その対応について問う。

答弁 いじめはどの学校でも、どの子どもにも起こり得る問題で

あるという認識を持ち、日頃から子どもの小さなサインも見逃すことがないよう学校、保護者、地域の連携の下、早期発見に努めており、今後ともいじめの未然防止と早期の対応に努めてまいりたい。



テロ等準備罪法案を廃止に



日本共産党議員団
石束悦子

質問 思想良心の自由を保障した憲法に違反し、監視社会・戦争する国づくりと歴史を逆行させるテロ等準備罪法案は、国に撤回を求めべきでないか、市民に影響はないか。

答弁 テロを含む、組織犯罪から国民を守るものであり国会の場

において決定されると認識している。

質問 思想良心の自由を保障した憲法に違反し、監視社会・戦争する国づくりと歴史を逆行させるテロ等準備罪法案は、国に撤回を求めべきでないか、市民に影響はないか。

答弁 一定の成果を上げているので緩和は考えていない。

質問 思想良心の自由を保障した憲法に違反し、監視社会・戦争する国づくりと歴史を逆行させるテロ等準備罪法案は、国に撤回を求めべきでないか、市民に影響はないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

質問 運動免許証自主返納者に助成がないと聞く。高年齢者外出支援事業の対象者を65才以上にし、バス代は乗り換えても200円に、タクシー代の助成は千

円以上にするなどには緩和すべきではないか。

府道21号線について安全・安心の整備を



公明党議員団
松田弘幸

質問 府道21号舞鶴野原港高浜線の中田地区で発生した土砂崩れの整備復旧状況について、また急斜面などにおいて新たに土砂崩れの危険性のある箇所が残っていないか問う。

質問 広報まいづる4月号で「6次産業化推進アドバイザー支援希望事業所」を公募されていたが、応募状況

じられている。危険箇所については、その把握に努め、適宜、対策工事を実施している。

質問 広報まいづる4月号で「6次産業化推進アドバイザー支援希望事業所」を公募されていたが、応募状況

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

答弁 市の公式ホームページなどで公募し、4件の応募があった。セミナー開催や個別アドバイスの他、販路拡大を図るため合同会社と連携し「舞鶴ふるさと直送便事業」を立ち上げ、販売先の確保を含め、農水商工連携を図っている。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

答弁 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

質問 現在、復旧工事については、府において応急的な対策が講

はどのようになっていくか。また、今年度、現時点での取り組み状況を併せて問う。

6月13日、14日に本会議を開き、17人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

舞鶴幼稚園の文化遺産の継承は



新政クラブ議員団
水嶋 一明

質問 舞鶴幼稚園は明治17年に創設され現存するものとしては府下最古、全国で6番目に古い歴史を持つている。市指定文化財に登録されている貴重な文化遺産が受け継がれているが、どのように継承していくのか。

回答 明治から昭和時代の幼児教材資料889点が、歴史的価値のある資料として市指定文化財に指定されている。幼児教育を伝える貴重な近代資料と認識している。郷土資料館等を活用した企画展の実施を検討するなどして歴史と伝統を後世に継承していきたい。

東京五輪に向けた取り組みはいかに



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 今後、ウズベキスタンの政府及び競技団体関係者の視察の受け入れ、秋には事前合宿の覚書を取り交わすと聞いている。相手国国際交流員の果たす役割と相手国を理解する取り組みを問う。

答弁 事前合宿の調整業務や市民・生徒向

フードツーリズムの連携は

「肉じゃが」等



新政クラブ議員団
水嶋 一明

海上自衛隊の歴史を絡めた舞鶴にしかできない食の提供が観光施策に有効と考えるが。

回答 今夏から「海自カレー」の提供や海自のレシピを基にした洋食メニューを楽しめる場を提供して、まちなかへの回遊を促し観光客の増加に取り組む。

港湾局を設置、受け入れ態勢強化を図っているが、その整備状況を問う。

答弁 第2ふ頭をクルーズ専用ふ頭として大型客船が安全に入港できる老朽化対策等を推進し、旅客待合所を海の京都駅と位置付け、滞在・交流機能や食・特産品の販売など回遊起点機能として、港と地域を結ぶ拠点としての整備を進めている。

地域包括支援センターの機能移転を



鶴翔会議員団
田村 優樹

質問 倉梯・倉二・与保呂地域包括支援センターは、圏域の市街地から離れた場所に立地しており、地域住民の方々から不便であると聞く。年間の相談件数のうち来所での相談が1%であることを見ても中心部に機能移転するべきではないか。

答弁 利用者の状況をよく把握するため訪問を重視している。移転は考えていない。

関電の説明をうのみで安全が守れるのか



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 市民の不安をよそに、関西電力高浜原発3、4号機が再稼働した。関西電力の説明で、何がどう変わり、市長は一定の理解をされたのか。

答弁 説明では3つの事故を教訓に、原子力発電所全体における4つの総合的な再発防止策が示され、安全対策の向上が図られたものと一定理解するに至ったものである。

私たちのふるさとをこんなまちにしたいという児童生徒の発想、思いを、ふるさと学習の到達目標となるような取り組みにはどうか。

答弁 本市では、ふるさと学習の目的を、自分と地域、社会との関わりについて探求し、舞鶴への誇りと愛着、優しく豊かな心と平和を愛し、自己の生き方を考える力を育てることに置いている。

の。市が決めた機械的な基準で選考しているのに同意できるものではないと考えるがいかがか。

答弁 国の指針を踏まえ、推薦基準を策定し、総合的に評価・選考した。基準は公表していません。

の。市が決めた機械的な基準で選考しているのに同意できるものではないと考えるがいかがか。

答弁 国の指針を踏まえ、推薦基準を策定し、総合的に評価・選考した。基準は公表していません。



農家の声を反映する委員会に

一般質問

6月13日、14日に本会議を開き、17人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

子育て支援のさらなる充実を

質問 「子どもなんでも相談窓口」は、開設し1年となり、子どもの虐待など新たな課題もあると考える。また子育て世代が多く利用するスマートフォンによる子育て情報の取得は、双方向での「子育てアプリ」が有効と考えるがどうか。



公明党議員団
小谷 繁 雄

答弁 相談数は、開設前の1・5倍、子どもの虐待の相談は48%と多く、様々な機会での支援のほか施設・機関との連携を強化し、早期のアウトリーチ型の訪問など適切な支援と子育て情報の提供についても充実努める。

認知症支援の充実を

質問 徘徊高齢者の行方不明を未然に防ぐ取り組みは喫緊であり、本市においては「事前登録制度」と「GPS利用支援事業」のさらなる支援の充実が必要と考えるがどうか。

答弁 今後とも本制度の周知と「認知症サポーター」の養成と合わせ、認知症になっても安心して出かけられる地域づくりに努める。

地域包括ケアシステムの構築はいかに

質問 国は、高齢者がたとえ介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で、自分らしい生活を送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つのサービスを包括的に提供できるケアシステムの構築を進めている。地域では自治



創政クラブ議員団
肝付 隆 治

答弁 地域包括ケア会、民生委員、老人会などの連携が特に重要であり、住民要望と課題をしっかりと踏まえた上で本市にふさわしいシステムを構築するために協議会が横断的な庁内組織が必要ではないかと考えるがいかがか。

システムの構築については医療担当部署や地域づくり担当部署などの庁内関係各課のほか、医師会、社会福祉協議会などの関係機関とも連携をとりながら進めている。横断的な庁内組織を設置するのではなく今後も引き続き地域包括支援センターを設置している高齢者支援課を中心に推進する。

北陸新幹線敦賀駅開業を見据えた施策



新政クラブ議員団
鯛 慶 一

質問 舞鶴若狭道全線開通に伴い、敦賀市まで自動車での移動は約1時間となった。距離は変わらないが、JRでは時間がかかり、それが利用客を減少させていると思う。北陸新幹線敦賀駅への延伸は、平成34年度末が開業予定であるが、敦賀

までのアクセス改善が求められる。現在、JR小浜線は普通列車のみが運行し、所要時間が約2時間を要するが、今後、敦賀までのアクセス改善を図るためJRに対し小浜線における快速列車等の運行を求める考えを問う。

答弁 北陸新幹線敦

高浜原発の再稼働すべて反対すべきでは



鶴翔会議員団
松岡 茂 長

質問 市長は、40年が経過している高浜原発1、2号機に対して「舞鶴市を立地自治体と認めない限り再稼働に反対」と発言。これは明確な反対表明か。「立地自治体」には3、4号機も含まれるので1、2号機だけでなくすべて反対という方が

筋が通るのではないかと、安定ヨウ素剤は、福祉施設や病院、子どもたちがいる学校などに事前配布すべきではないか。

答弁 舞鶴市の同意なしに「新規稼働」とも言うべき1、2号機の再稼働はあり得ないと考えている。安定ヨウ

素材は、府と協議し福祉施設等への備蓄も準備を進めている。

「子ども食堂」に支援を

質問 子どもの貧困対策は待ったなしだ。府は予算を組み助成を始めたが、舞鶴市は「子ども食堂」をどう支援していくのか。

答弁 府と連携し、民間事業者の意向や要望を聞き、必要な支援を検討していく。

6月13日、14日に本会議を開き、17人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。
6月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論



万願寺甘とうの 販売促進状況は

質問 万願寺甘とうは京の伝統野菜・ブランド産品として認められた本市の誇る特産物で、生産者は丹の国農協全体で600トン、3億6千万円の目標を掲げ栽培に取り組んでいるが、本年度の販売促進・ブランド力強化の取り組みを問う。



新政クラブ議員団
今西 克己

答弁 去る6月5日に東京のレストランで舞鶴プレミアムランチフェアを開催し、市長自らトップセールスを行うなど、マスメディア等への情報提供を図るなど強力に販売促進に努める。

防災アプリ活用を有効的に

赤れんがの整備は 市民の声を聞いてこそ



日本共産党議員団
小杉 悦子

平成28年3月「赤れんが周辺等まちづくり基本構想」を策定したが、「基本計画」はいまだ公表されていない。一方、赤れんが周辺の



まちづくりは市民への説明と意見聴取を

「エリアマネジメント展開等の検討」のため国土交通省の「先導的

質問 地域の防災・

災害情報を地図情報、衛星測位システムを利用し、住民に的確に速報するスマートフォン等を使用した防災速報用アプリの活用を問う。
答弁 このアプリは、現在地の防災情報に加え、事前に登録した地域の緊急防災情報も同時に得られる機能を備え、市民への情報発信の重層化を図る観点から導入したいと考える。

質問 地域住民の安心安全の確保に、献身的に活動されている消防団員の公務災害補償の内容の変更は、「増額されてこそ」だと考える。減額部分は生かす条例にすべきだ。これら2議案は反対する。

公務災害補償は増額でこそ

地方創生拠点整備事業や中心市街地活性化事業に関して本市のまちづくりを大きく変える、舞鶴市立地適正化計画の説明会が開かれている。市民の声をよく聞き、その声を生かすまちづくりを進めることを強く要望する。

子育て支援と住みよい 環境を目指す補正



公明党議員団
杉島 久敏

今定例会に上程された全議案に賛成し、討論する。民生費においては、平成29年度補正予算の約2分の1を占める「公立認定こども園整備事業」で舞鶴幼稚園と西乳児保育所を機能集約することにより質の高い乳幼児教育と保育サービスの充実を図る「認定こども園」の創設に取り組みものであり、高く評価する。

また、衛生費においては、かねてより要望していた「休日救急診療所」を毎週日曜日に開設するよう対応い



要望に応えた休日急病診療所

ただき、市民の注目する喫緊の課題であったことから感謝するものである。
土木費においては「中心市街地活性化事業費」として、西地区の田辺城址を起点とした「歴史のみちづくり」に取り組んでいたという。舞鶴市民のみならず、舞鶴市に訪れる多くの観光者に舞鶴の魅力伝える周遊道として早期完成を要望するとともに国の補助金の確保に引き続き努力していただくようお願いする。

6月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました

討 論



認定こども園の様子

6月定例会に上程された全議案に賛成する。第56号議案の一般会計補正予算のうち、平成31年4月の開設を目指す「認定こども園」は、幼稚園と保育所の長所を併せ持った施設で、保護者が働いているか

認定こども園
運営体制は早めに

鶴翔会議員団
松岡 茂長



いないかに関わらず、教育と保育を一体的に行う施設だ。質の高い乳幼児教育を行う上で期待されるが、子どもの安全対策や、幼稚園教諭と保育士をどう共存させていくか、職員の負担増を考慮し、どのような運営体制を構築するかなど、円滑なスタートを切るため、早期に準備を進めておく必要がある。

職員は市民を見て仕事を

第58号議案は、市職員の懲戒、分限の処分の手続きに係る条例制定だが、ここ半年間、行政への信用を失墜する市職員の不祥事が続いている。再発防止に努めることは当然だが、部下の管理・監督がでない職場環境の見直しと、市職員本来の「全体の奉仕者」として、「市民を見て仕事をす」という基本姿勢を、謙虚に検証すべきだと考える。



完成した城門前

今定例会に上程された全議案に賛成の立場で討論する。中心市街地活性化事業の西地区歴史のみちづくりは総延長2・85kmのうち28年度には城門前約100mが完成した。この完成により

歴史、文化を生かす
みちづくりを評価

創政クラブ議員団
尾関 善之



国道27号線から城門を見ることができ、歴史・文化を醸し出す整備として高く評価する。今年度は朝代紺屋町線その他2路線の景観舗装450mを整備し、今日、クルーズ船の寄港により多くの観光客が訪れる中、まちなかの歴史・文化に触れていただくため、集客力、回遊性を高める施設として、早期の完成に向け期待する。

事前合宿に期待する

2020年東京オリンピックのウズベキスタン共和国のレスリング競技と柔道競技の事前合宿の内定を受け、ウズベキスタンより国際交流員を受け入れ、同国の理解を深める取り組み、事前合宿受け入れの調整などを円滑に進める取り組みなど、スポーツ交流を通して本市のスポーツ交流人口の拡大に期待する。

地方創生拠点
整備事業を評価する

新政クラブ議員団
和佐谷 寛



上程された全議案に賛成し討論する。平成27年度より、防衛省の補助事業を活用するなど、赤れんが周辺を一大交流拠点として、「まちづくりの事業」を進め、平成28年度には民間活力の導入を含め施設整備概要を取りまとめ、本年度において基本計画を踏まえた北吸三角地を含む実施計画の策定に着手。国土交通省の「先導的官民連携支援事業」の採択を受け、民間活力導入可能性調査に取り組みることになったものであり、高く評価する。

認定こども園の整備に期待

公立認定こども園整備事業は、全体事業費約4億2千万円をかけ、舞鶴幼稚園と西乳幼児保育所を集約し、幼稚園機能と保育所機能を併せ持った「認定こども園」を整備することにより、質の高い乳幼児教育の推進を図り、併せて、乳幼児教育センターの機能を設けるものである。この事業は、国の「地方創生拠点整備交付金」に採択され、本市の質の高い乳幼児教育の充実に向けた取り組みであり評価する。



乳幼児教育の拠点に期待



舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しましたので、その概要を報告します。
5月8日～10日(総務文教委員会・民生環境委員会) 5月15日～17日(経済消防委員会・建設委員会)

常任委員会の視察報告

総務文教委員会

- ①三条市
小中一貫教育の取り組みについて、特別支援教育について
- ②宇都宮市
小中一貫教育の取り組みについて、特別支援教育について
- ③富士見市
財政健全化の取り組みについて

三条市は平成25年度から小中一貫教育を実施しており、推進協議会等で検討を重ねてきた。平成27年には「小中一貫教育全国サミットin三条」を開催し教育活動を全国にアピールしている。特別支援教育は、小中の連携を行い「個別の指導計画」を作成する等充実を図っている。

宇都宮市も平成24年度から小中一貫教育を実施しており、施設分離型である。市内25の地域学校園を設定しており地域総ぐるみで進めている。特別支援教

育は児童生徒の社会的自立を目指した計画としている。

富士見市は平成24年に「健全な財政運営に関する条例」を施行している。自立的な財政基盤の整備や負債の抑制など、将来にわたって計画的な財政運営を行っており、中期財政計画の策定も行っている。一方で将来の財源確保を見据え、企業誘致や交流人口の増加にも力を入れている。

民生環境委員会

- ①高槻市
高槻市立桜台認定こども園の取り組みについて
- ②北九州市
乳幼児教育の充実について
- ③三次市
ごみ減量化の取り組みについて

高槻市の認定こども園では、生活スタイルが異なる子どもが過ごすために、教育・保育

の工夫や配慮が必要であることや、報告書等の書式が統一されていないため、作業が二度手間であったことなどの説明を受けた。

北九州市では、福祉系と教育系のプランを策定し、幼児期から児童期への円滑な移行を図るために、保幼小連携事業の拡充や、3小学校をモデル校区とし、連携推進会議の設置や研修会の開催など積極的に取り組まれていた。

三次市のごみ減量化対策では、平成2年から有料化をスタートさせ、不燃ごみに対して指定ごみ袋化で減量に取り組まれていた。今後、三次市では、焼却灰のセメント資源化の検討、陶器・ガラス等のカレットサンド化で埋戻材に活用することや、粗大ごみの有料化の検討も進めていくとのことであった。

経済消防委員会

- ①佐世保市
クルーズ船の入港による地元への波及効果について
- ②玉名市
6次産業化の推進について
- ③宮崎市
初期消火や応急手当等の啓発について

佐世保市は、平成29年度に80隻、30年度はその1.5倍のクルーズ船入港が見込まれている。そこで、5か国の言語に対応した37人の案内通訳やWEBの整備、好評の国際ターミナルの臨時販売店等、官民一体の取り組みが地元経済効果に波及するよう、諸施策を展開されている。

玉名市は、人口の15.9%が農業従業者である。今年度から6次産業推進室をふるさとセールズ課に移し、中小規模農家・個人を対象に農家の所得向上

の支援、特に販路の確保拡大に向け行政と農業者が一体で、所得向上に向けた取り組みを実施されている。

宮崎市は、第4次総合計画で「10年間に管轄人口の約半数20万人に救急救命講習を受講してもらおう」を目指し、年間2万人を目標に啓発をされている。子どもから大人まで、防火・防災に対する活動や市民の協力体制が根付いている。

建設委員会

- ①毛呂山町
都市計画制度について
- ②春日部市
浸水・治水対策について
- ③浜松市
浸水・治水対策について、道路整備について

毛呂山町では、社会情勢の変化、喫緊の課題である少子高齢化に伴う人口減少など、都

市計画の観点から見た「まち全体」の土地利用などの方向性を示す「毛呂山町都市計画マスタープラン」を平成29年2月に改訂し、町の特徴を生かしたまちづくりを推進している。

春日部市の浸水対策は河川事業者(埼玉県)と下水道事業者(春日部市)が連携し、「浸水被害軽減プラン」を策定している。埼玉県内で初めて登録された安心プランに位置付けられた河川改修事業や下水道事業については、より一層整備の推進が期待されている。

浜松市の道路整備は、限られた財源の中で、市の現状や市民ニーズを把握し、「浜松市のみちづくり計画」を策定し整備や管理に努めている。

また、道路施設の長寿命化を図るため、マニュアル等を策定し、取り組んでいるとの説明を受けた。

6月28日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した条例議案

- 専決処分の承認を求めることについて（舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定）
- 舞鶴工業高等専門学校修学資金の貸与に関する条例制定について
- 舞鶴市の職員の懲戒の方法及び効果に関する条例及び舞鶴市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職業能力育成訓練資金の貸与に関する条例制定について
- 舞鶴市介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例制定について
- 舞鶴市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市道路標識の寸法に関する条例の一部を改正する条例制定について

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

高橋秀策	谷川真司	林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛村慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日
創政	創政	創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無党派	
○	○	○	○	○	加わ りま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月28日
○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月28日
○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月28日

平成28年度の政務活動費の支出内容をお知らせします。

政務活動費は、議員の調査研究等に資するための必要な経費の一部として、議員 1 人当たり年額 26 万円を議会会派に対し交付されます。なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。

舞鶴市議会のホームページに会派視察等報告も掲載しておりますのでご覧ください。

ホームページ： <http://www.city.maizuru.kyoto.jp/sigikai/>

(単位：円)

会派名	収入		支出									支出合計	差引不用額
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請陳情活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費	事務費			
創政クラブ議員団	2,080,000	0	1,036,260	0	0	120,660	182,512	0	0	130,631	1,470,063	609,937	
主な支出の内容：視察旅費（丹波市、高松市、松山市など）、要請陳情旅費（北陸新幹線京都府北部ルートの実現についての要望活動）など													
新政クラブ議員団	2,080,000	0	891,836	0	564,017	181,460	155,542	0	0	157,459	1,950,314	129,686	
主な支出の内容：視察旅費（福山市、浜松市、岐阜県など）、要請陳情旅費（北陸新幹線京都府北部ルートの実現についての要望活動）、会派広報費（印刷、折込料）など													
公明党議員団	1,040,000	0	758,126	0	0	29,750	0	0	0	75,587	863,463	176,537	
主な支出の内容：視察旅費（篠山市、新城市、裾野市など）、要請陳情旅費（北陸新幹線京都府北部ルートの実現についての要望活動）など													
日本共産党議員団	1,040,000	0	2,620	0	780,916	0	103,186	0	0	75,402	962,124	77,876	
主な支出の内容：視察旅費（篠山市）、会派広報費（印刷、折込料）など													
鶴翔会議員団	780,000	0	480,555	0	0	29,310	0	0	0	65,361	575,226	204,774	
主な支出の内容：視察旅費（長崎市、伊万里市、周南市など）、要請陳情旅費（北陸新幹線京都府北部ルートの実現についての要望活動）など													
会派に所属しない議員	260,000	0	66,140	0	0	0	0	0	0	38,383	104,523	155,477	
主な支出の内容：視察旅費（大和市、水戸市、米子市）など													



本会議において付託された議案は、予算決算委員会2件、建設委員会7件、民生環境委員会2件、経済消防委員会が3件、総務文教委員会8件であり、それぞれの委員会審査しました。

常任委員会の審査報告 9月定例会の予定

予算決算委員会

一般会計補正予算など
2件を可決

平成29年度舞鶴市一般会計補正予算（第1号）では、質疑において、地方創生拠点整備事業については、赤れんがパークを中心としたエリアの整備・開発は、事業展開のノウハウを持つ事業者と地元が一体となって進めていく、民間活力の導入について様々な可能性を検討していきたいなどの答弁がありました。

討論では、反対の立場から、本来は、基本計画が明らかにされ、調査や実施計画に進んでいくが、基本計画が示されるまでにエリアマネジメント展開等の検討が進められることになっており、本来の進め方ではないため認められないとの意見。

賛成の立場からは、財源として国の補助金も確保し、交流拠点の

建設委員会

東浄化センター電気設備（その1）工事に係る請負契約を締結

整備・開発に積極的に取り込まれていることを評価するなどの意見がありました。

東浄化センターにおいて、停電時においても安定した汚水処理を継続するため、自家発電設備の改築を行う工事請負契約を締結するものなど説明を受けました。

質疑において、今回のように、規模が大きいく一定の施工能力が求められる工事においては、市内に支店を持つ業者も入札参加者として競争性と品質の確保に努めているとの答弁がありました。

討論では、賛成の立場から、本工事は必要な電気設備の改築を行うものであり、早急に進められたいとの意見がありました。

民生環境委員会

舞鶴市介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例を制定

舞鶴市の介護人材の育成及び確保に資するため、舞鶴市内の養成施設卒業後に、市内で介護福祉士として働く意思がある者に対して、奨学に要する資金を貸与するものであるなどの説明を受けました。

質疑において、舞鶴工業高等専門学校の修学資金の貸与が条例化されることから、本事業も政策的に実施するため、要綱を条例化したこと。本年3月末に初めて3年継続して介護に従事した方がいて、3名が修学資金返還免除の要件に該当したなどの答弁がありました。

経済消防委員会

舞鶴市職業能力育成訓練資金の貸与に関する条例を制定

舞鶴市で働く若者の

総務文教委員会

舞鶴工業高等専門学校修学資金の貸与に関する条例を制定

低所得世帯の子どもが専門知識を修得するための修学を支援するとともに、本市の産業を支える人材を確保するため、舞鶴工業高等専門学校に在学し、卒業後、本市で働く意思がある者に対し、同校での修学に要する資金を貸与することとして必要な事項を定める。条例では、貸付の対象者、修学資金返還免除の要件などを規定し、

舞鶴市職業能力育成訓練資金の貸与に関する条例を制定

舞鶴市で働く若者の確保と育成に資するため、ポリテクカレッジ京都の在学生で、卒業後、本市で働く意思がある者に対して、同校の職業訓練資金相当額を貸与することとして必要な事項を定めるなどの説明を受けました。

質疑において、学んだ技術を生かして舞鶴市内で就業していただきたいことから、学んだ内容と違う業種に就職しても、修学資金返還免除の対象になること。また、貸付額は、1学年当たり60万円を上限にしているが、入校料及び授業料の合計55万9200円が1学年当たりの最高貸付額になるなどの答弁がありました。

討論では、賛成の立場から、貸付要件を緩和し、更なる制度の充実を願う。ポリテクへの就業や市内の就業がしやすい制度であり評価するとの意見がありました。

9月定例会予定

- 8月 30日(水)本会議(開会)
 - 9月 5日(火) 請願受理締切
 - 8日(金) 本会議(代表質問)
 - 11日(月) 本会議(一般質問)
 - 12日(火) 本会議(一般質問、質疑)
 - 14日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 15日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 19日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 20日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 26日(火) 予算決算委員会
 - 10月 2日(月) 本会議(閉会)
- ※予定は変更することがあります。